

編集後記

Editorial Postscript

黍稷農季人

Kibikibi Nokijin

コロナウィルスのパンデミックにはうんざりですが、皆様が日々忍耐して遅しくお暮らしのことに敬意を表します。世界中がこのような大変な時期に侵略戦争を企て、さらに数えきれないほど多くの人々の幸せを壊す独裁者の権力欲には際限がないのでしょうか。ジョージ・オーウェル『一九八四年』に描かれているように、「戦争は平和なり、自由は隷従なり、無知は力なり」であってはならないのです。第三次世界大戦をもって脅迫して、火の七日間の先の千年紀、ナウシカの世界に陥らせるのは、人類最悪の罪業です。私は非暴力不服従が信条ですが、侵略戦争に対しては家族を守るために抵抗します。ナウシカを守った老兵のように闘います。平時でもこの人生は不条理に抗ってきたのですから、たとえ戦時におい

ても同じです。

青い鳥はいつもここにいます。私たちはとても難しい課題であっても避けないで、深く学び考える必要があります。『ヨハネの黙示録』に記されているとおり、「時が迫っているから」です。いつまでも始めの一步で留まっていたら、世の中は悪くなるばかりです。武谷三男の三段階論のように、現象論段階に安住せず、科学的事実を検討して実体論段階、さらに環境課題を解決に導くために本質論段階に、自らの世界観を高め、家族との日常生活の定常化を進めたいです。心の構造と機能を系統発生的に個別に発達させて、知能の統合を再生したいです。政治、行政、研究、教育もC級ばかりでは、ファンタジエンは虚無の奈落に向かっています。

民族植物学ノオト 第15号 (2022) ISSN 1880-3881

発行日: 2022年3月30日

発行所: 特定非営利活動法人 自然文化誌研究会

発行責任者: 植物と人々の博物館 木俣美樹男、西村俊

所在地: 〒409-0211 山梨県北都留郡小菅村 3337-2
自然文化誌研究会

Ethnobotanical Notes No. 15 (2022) ISSN 1880-3881

edited by Mikio Kimata (Plants and People Museum)

The Institute of Natural and Cultural History,

3337-2 Kosuge, Kitatsuru-gun, Yamanashi Prefecture, Japan 409-0211